

島根原子力発電所原子力災害時の 避難行動計画 地区別パンフレットについて

原子力災害発生時の避難行動計画 地区別パンフレット

- この地区別パンフレットは、「鳥取県原子力防災ハンドブック」の情報について、特に、避難行動について、P22～24の情報を切り取り、69パターン作成しました。
- 地区別パンフレットは、原子力災害発生時の行動、どこを通過して、どこへ避難をするのか、避難行動をタイムラインに沿って、お住まいの地区ごとに示したものです。
- 1月の市報に折り込んで配布しています。また、各地区の公民館、自治防災課で配架しており、ホームページでは、地区ごとのパンフレットがダウンロードできます。

保存版 令和4年 各家庭、事業所等に備えてください

鳥取県

原子力防災
ハンドブック

日頃の備えが大事!!

原子力災害とは? P.3

屋内退避とは? P.8

避難の方法とは? P.10

緊急時の医療体制は? P.18

放射線の基礎知識 P.20

避難する場所とは? P.22

避難する時は
どうすればいいの??

もしもの時は
どうすればいいの??

必要な取組みって
なんだろう??

避難する時は
どうすればいいの??

鳥取県原子力防災アプリを
無料ダウンロードしよう

App Store Google Play

App StoreはGoogle Playで
無料ダウンロードできます

【原子力災害時の新型コロナウイルス感染防止対策】

屋内退避中は、被ばくを避けることを優先するため、外の空気が入らないように原則換気をしないうでください。
※ただし、感染症対策の観点から、放射性物質の放出に留意して、30分に1回程度、数分の換気をお願いします。

普段からの感染対策の6つのポイント

- ① マスク着用・手洗い、換気の徹底
- ② 屋外でも、人と人との距離を十分にとる
- ③ 体調が悪ければ無理な登校・出勤は控える
- ④ 会食時は大皿・箸の共有は避け、会話時はマスクを着用する
- ⑤ マスクをしていても、大声を出して騒がない
- ⑥ 乗客時など密閉空間での往來の際は特に注意する

ハンドブック



保存版 令和4年度作成

原子力災害発生時の避難行動計画

境港市 中野町(中野1区) 自治会の地域に住んでいる人

鳥取市へ避難してください

自家用車で避難する際は、この冊子が見えるように車のダッシュボードに置いてください。災害時に備えて、日頃から保管しておきましょう。

放射線物質放出(前)

市や県が提供する情報

- 大地震発生など(松江市で震度6弱以上)警戒事態
- 原子炉施設全交流電源喪失など施設敷地緊急事態
- 原子炉冷却機能喪失など全面緊急事態

自分たちがやるべきこと

情報の入手
テレビ、ラジオなどで情報を集める。P.3 参考

屋内退避の準備
不要不急な外出を控え、備蓄品(飲料水、食料品)を確認する。保育園、学校等の施設は、休園(校)となるため、園児(児童)等を迎えに行く。

屋内退避
自宅又は近くのコンクリート屋内退避施設(学校・公民館)に避難。ドアや窓を閉める。屋内では窓から離れる。

市や県からの避難指示が出たら

自宅

マイカー ※一時集結所まで歩いて行き安定ヨウ素剤を受け取った後、マイカーで避難することもできます。

一時集結所 ※安定ヨウ素剤を配布します。 境高等学校 市民体育館

バス

避難地域時検査会場 P.2 江府町立総合体育館

※交通情報の他、安定ヨウ素剤は、こちらでも受け取れます。

鳥取市の避難所へ P.3-4

放射線物質放出(後)

パンフレット(地区別)

P1 上

- 市や県が提供する情報によって、「自分たちがやるべきこと」とを明確に示しました。1ページの上半分、左側には、進捗情報、右側には、避難（準備）行動が記載してあります。
- ここまでは、放射性物質が放出される前の行動です。

自家用車で避難する際は、この面が見えるように車のダッシュボードに置いてください 災害時に備えて、日頃から保管しておきましょう

保存版
令和4年度作成



境港市

原子力災害発生時の避難行動計画

渡町（渡1区）自治会の地域に住んでいる人

▶ **鳥取市**へ避難してください

原子力災害発生のおそれがある際、このパンフレットに従い、身の安全を守りましょう。

放射線物質放出前

市や県が提供する情報

- 大地震発生など（松江市で震度6弱以上）**警戒事態**
- 原子炉施設全交流電源喪失など**施設敷地緊急事態**
- 原子炉冷却機能喪失など**全面緊急事態**

自分たちがやるべきこと

情報の入手
テレビ、ラジオなどで情報を集める。 **P.3** 参考 

屋内退避の準備
不要不急な外出を控え、備蓄品（飲料水、食料品）を確認する。保育園、学校等の施設は、休園（校）となるため、園児（児童）等を迎えに行く。 

屋内退避
自宅又は近くのコンクリート屋内退避施設（学校・公民館）に避難。ドアや窓を閉める。屋内では窓から離れる。 

P1 下

- 避難指示により、バス等で避難する場合は、自宅から一時集結所に徒歩で向かっていただき、必要に応じて安定ヨウ素剤の受領や服用後、県が用意したバスに乗り込み、パンフレットに記載してある避難退域時検査会場を経て、該当する市町の避難先へ避難します。
- 自家用車で避難される場合は、直接、避難退域時検査会場を経て、該当する市町の避難先へ避難します。

放射性物質放出

後

市や県からの避難指示が出たら

自宅



マイカー



※一時集結所まで歩いて行き安定ヨウ素剤を受け取った後、マイカーで避難することもできます。

徒歩等



一時集結所

※安定ヨウ素剤を配布します。

第三中学校



バス

避難退域時検査会場

P.2

伯耆町B&G海洋センター

※交通情報の他、安定ヨウ素剤は、こちらでも受け取れます。

鳥取市の避難所へ P.3-4



- 新しいパンフレット P 2 には、該当する避難退域時検査の住所・電話番号、地図が、掲載してあります。
- P 3 には、避難先自治体の周辺地図、P 4 には、該当する避難所の情報「名称・住所・電話番号」が記載してあります。避難時のカーナビゲーションの利用に対応したものです。
- 避難先施設周辺地図やルートに関しては、避難先自治体職員にご協力いただきました。
- **新しいパンフレットは、原子力災害を少しでも自分事としてご理解いただけるように発生時の行動や避難に際しては、どこを通過、どこへ避難をするのか、避難行動をタイムラインに沿って、お住まいの地域ごとに、この 1 ページだけでも、見ていただければ、ご理解いただけるように作成しました。**
- 普段は、すぐに目に留まるような場所、避難時では、マイカーで避難される場合には、車のダッシュボードの上にも置いていただきながら、避難行動にご活用いただければと思います。

原子力災害発生時の避難行動計画 地区別パンフレット説明会

	日にち	時間	会場	参加できる人
渡地区	令和5年1月20日（金）	19時～21時	渡公民館	該当地区にお住いの人
境地区	令和5年1月22日（日）	14時～16時	境公民館	市内在住の人
上道地区	令和5年1月26日（木）	19時～21時	上道公民館	該当地区にお住いの人
余子地区	令和5年1月30日（月）	19時～21時	余子公民館	該当地区にお住いの人
外江地区	令和5年2月 1日（水）	19時～21時	外江公民館	該当地区にお住いの人
誠道地区	令和5年2月2日（木）	19時～21時	誠道公民館	該当地区にお住いの人
中浜地区	令和5年2月10日（金）	19時～21時	中浜公民館	該当地区にお住いの人

アンケート集約

【地区別参加人数】

地区名	
渡	22人
境	12人
上道	11人
余子	18人
外江	6人
誠道	17人
中浜	23人
合計	109人

【年代（回答者のみ）】

【単位：人】

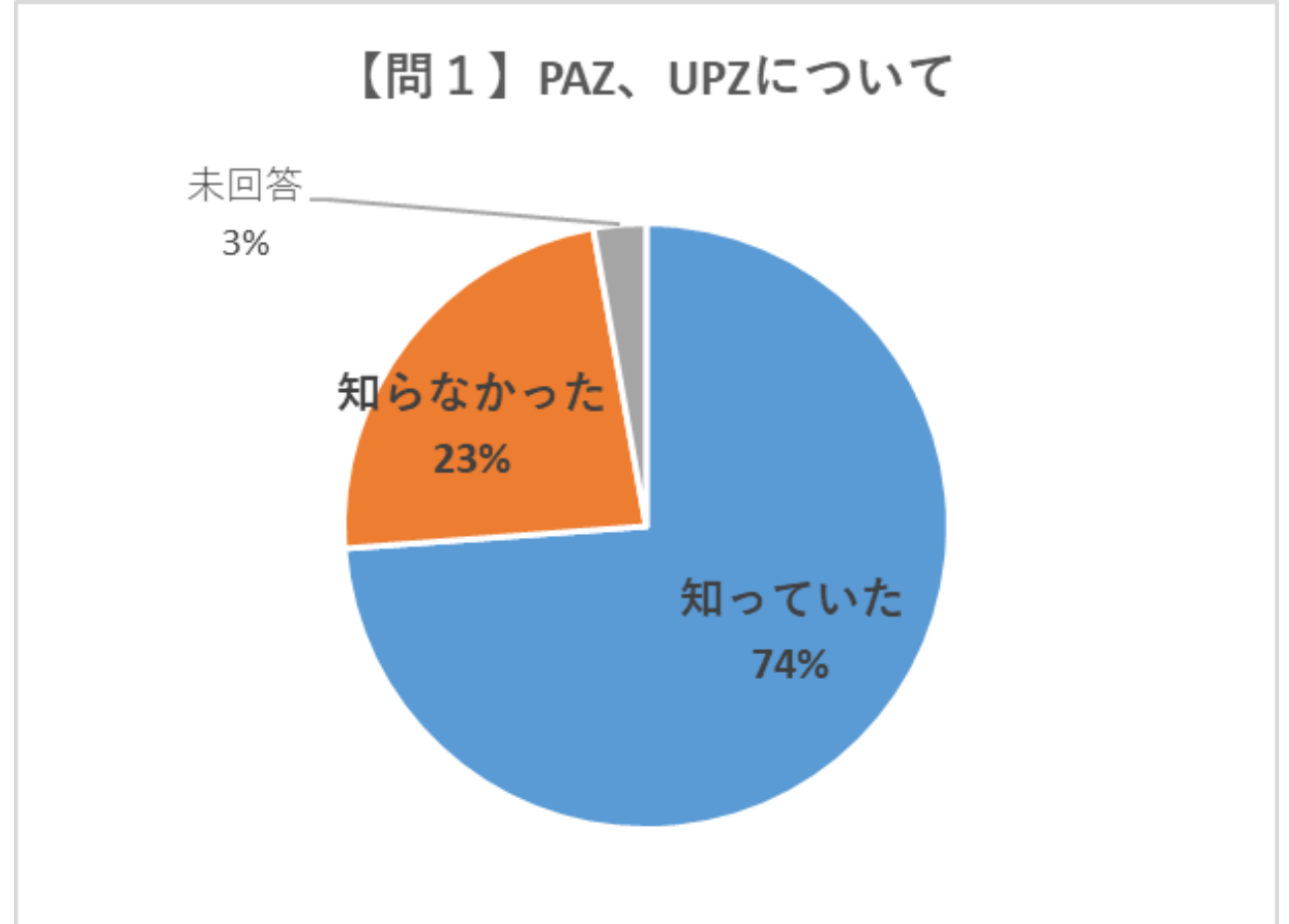
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
渡			1	6	7	7		21
境					5	6	1	12
外江		1		2	2	1		6
上道			1		3	6	1	11
余子			1	3	5	8		17
誠道			1	6	2	6	2	17
中浜				2	3	14	3	22
合計	0	1	4	19	27	48	7	106

※未提出（渡地区1、余子地区1）

※中浜地区未記入1

【問 1 PAZ、UPZについて】

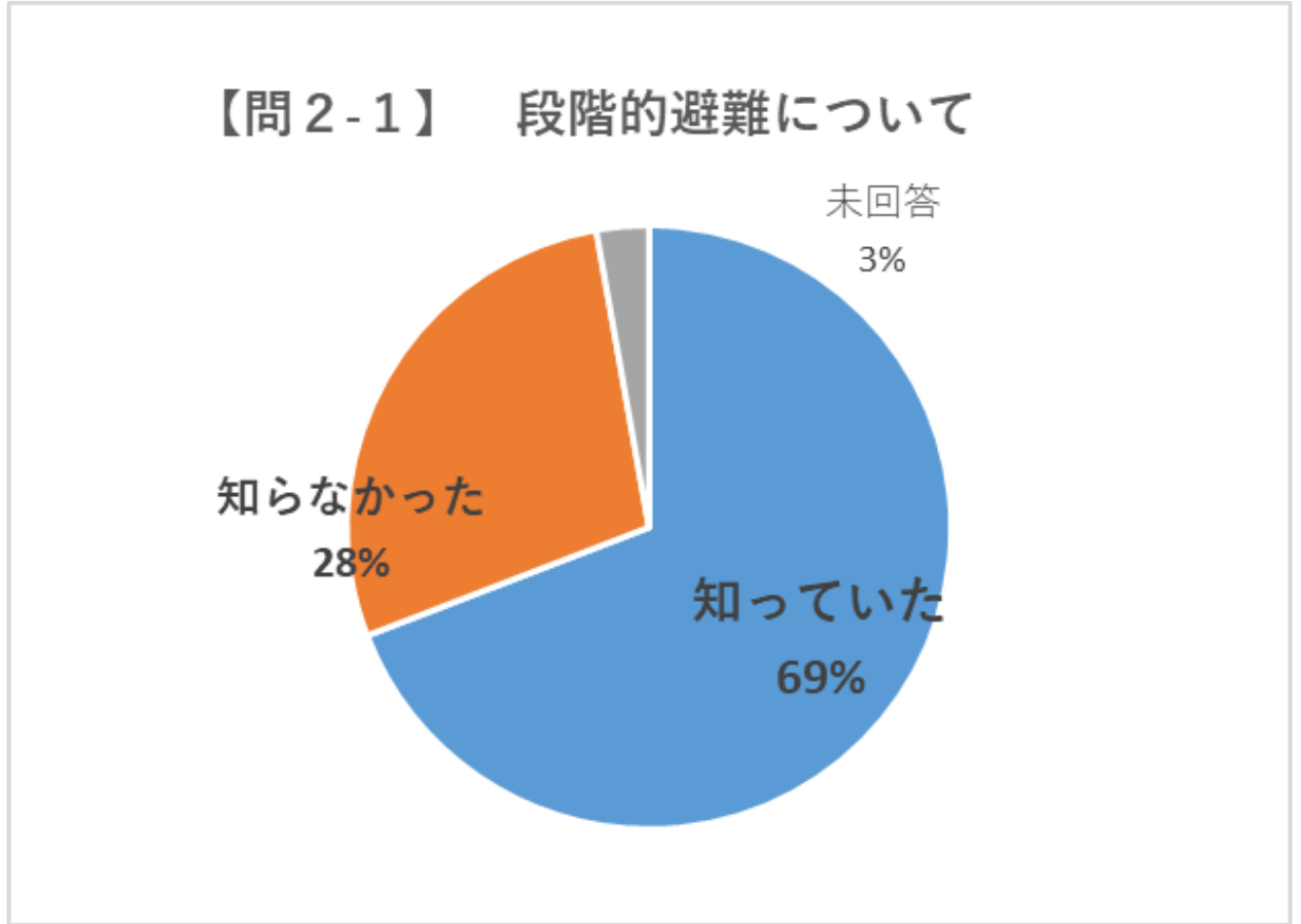
地区名	知っていた	知らなかった	回答者数
渡	19人	2人	21人
境	11人	1人	12人
上道	9人	2人	11人
余子	15人	2人	17人
外江	4人	2人	6人
誠道	8人	8人	16人
中浜	13人	8人	21人
合計	79人	25人	104人



※未回答（誠道地区 1、中浜地区 2）

【問 2 - 1 段階的避難について】

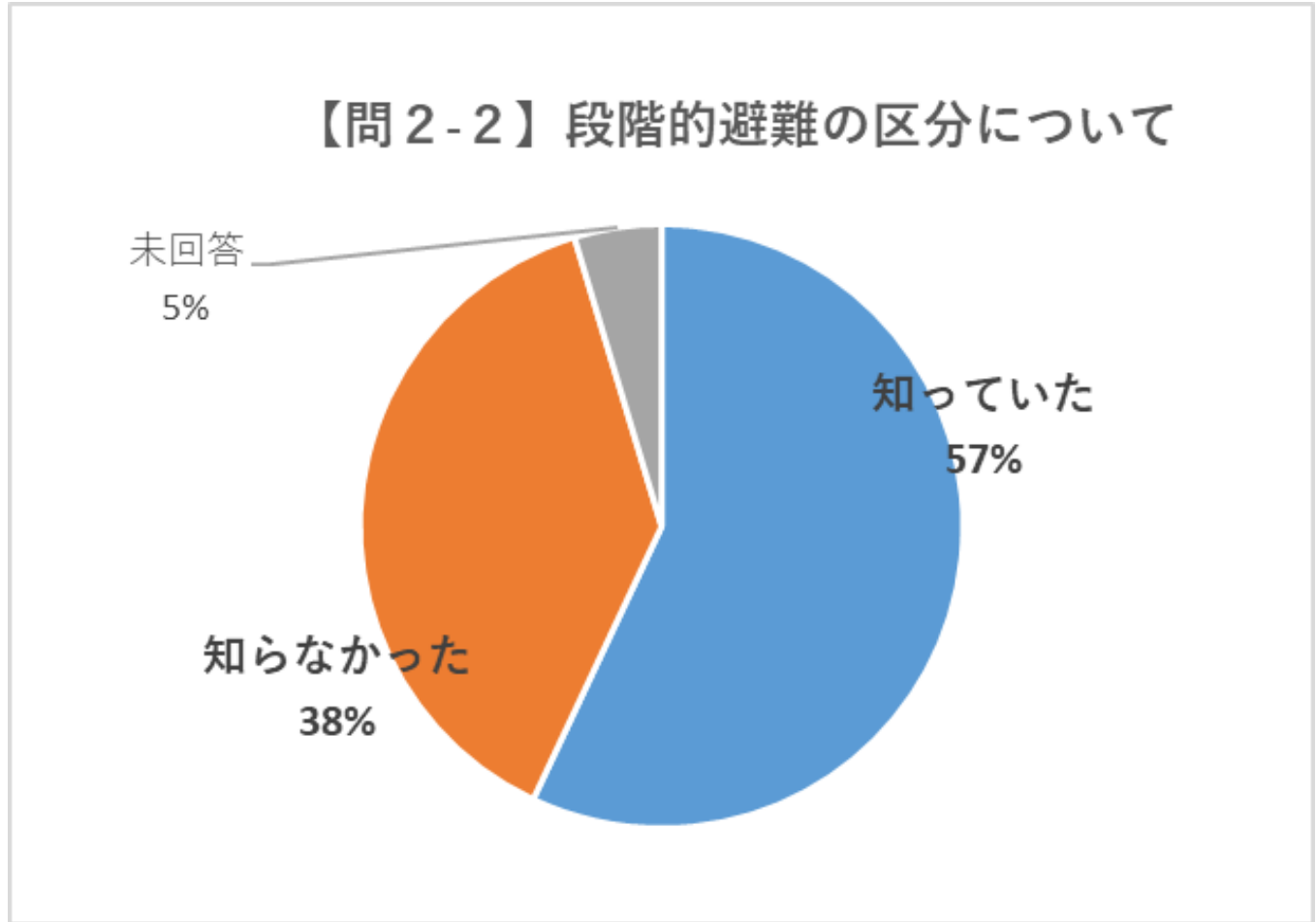
地区名	知っていた	知らなかった	回答者数
渡	16人	5人	21人
境	10人	1人	11人
上道	10人	1人	11人
余子	14人	3人	17人
外江	4人	2人	6人
誠道	9人	8人	17人
中浜	11人	10人	21人
合計	74人	30人	104人



※未回答（境地区 1、中浜地区 2）

【問 2 - 2 段階的避難の区分について】

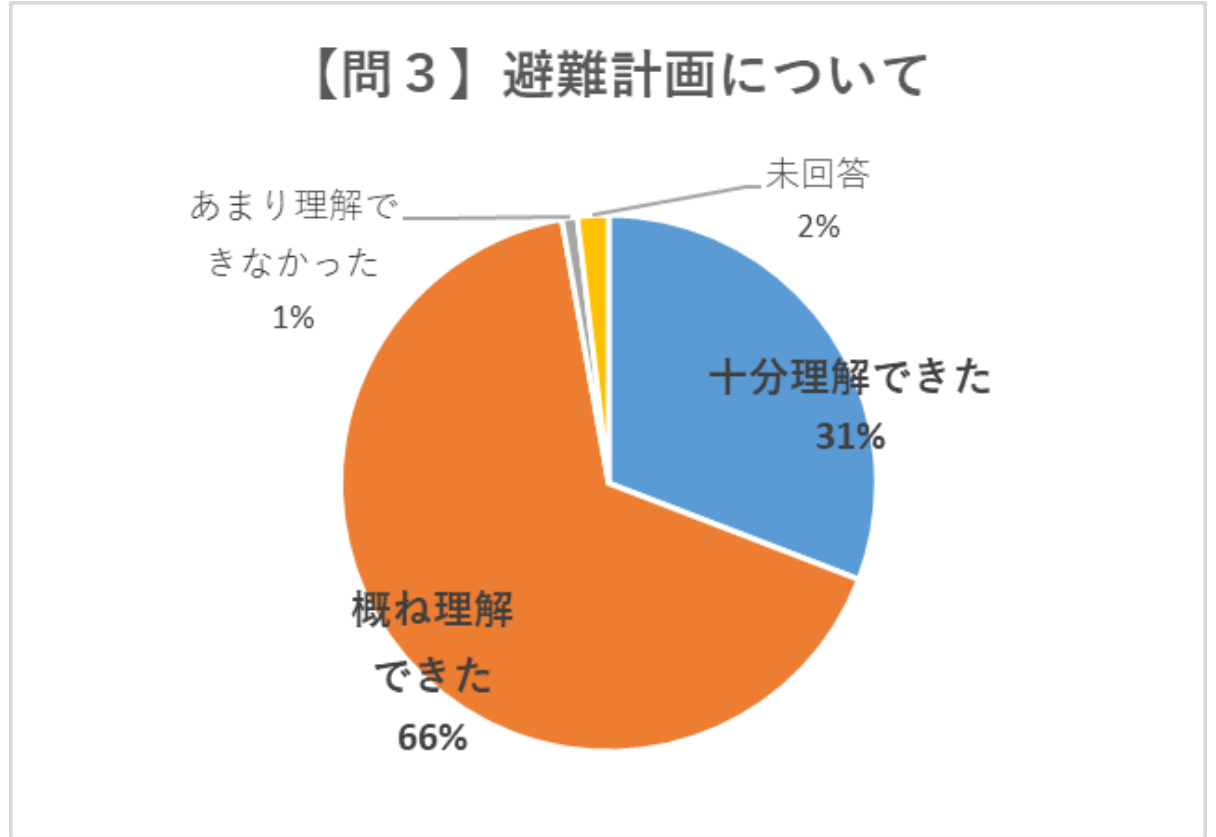
地区名	知っていた	知らなかった	回答者数
渡	16人	5人	21人
境	9人	2人	11人
上道	6人	5人	11人
余子	10人	5人	15人
外江	2人	4人	6人
誠道	10人	7人	17人
中浜	8人	13人	21人
合計	61人	41人	102人



※未回答（渡地区 1、境地区 1、余子地区 1、中浜地区 2）

【問 3 避難計画（一時集結所、避難経路、避難先）について】

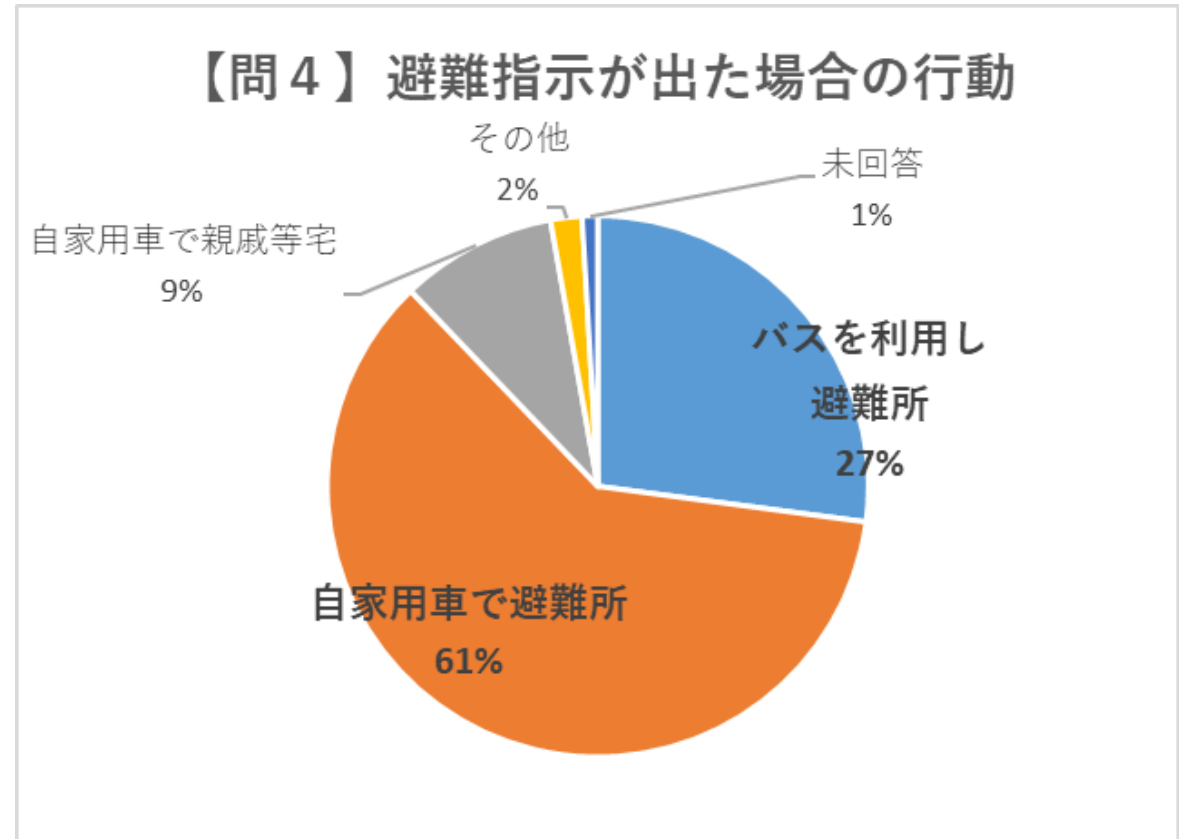
地区名	十分理解できた	概ね理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	回答者数
渡	4人	17人	0人	0人	21人
境	5人	6人	1人	0人	12人
上道	5人	6人	0人	0人	11人
余子	10人	6人	0人	0人	16人
外江	2人	4人	0人	0人	6人
誠道	4人	13人	0人	0人	17人
中浜	3人	19人	0人	0人	22人
合計	33人	71人	1人	0人	105人



※未回答（余子地区 1、中浜地区 1）

【問 4 避難指示が出た場合の行動について】

地区名	バスを利用し避難所	自家用車で避難所	自家用車で親戚等宅	その他	回答者数
渡	6人	13人	2人	0人	21人
境	2人	10人	0人	0人	12人
上道	2人	7人	2人	0人	11人
余子	4人	12人	0人	1人	17人
外江	1人	3人	2人	0人	6人
誠道	7人	9人	1人	0人	17人
中浜	7人	11人	3人	1人	22人
合計	29人	65人	10人	2人	106人



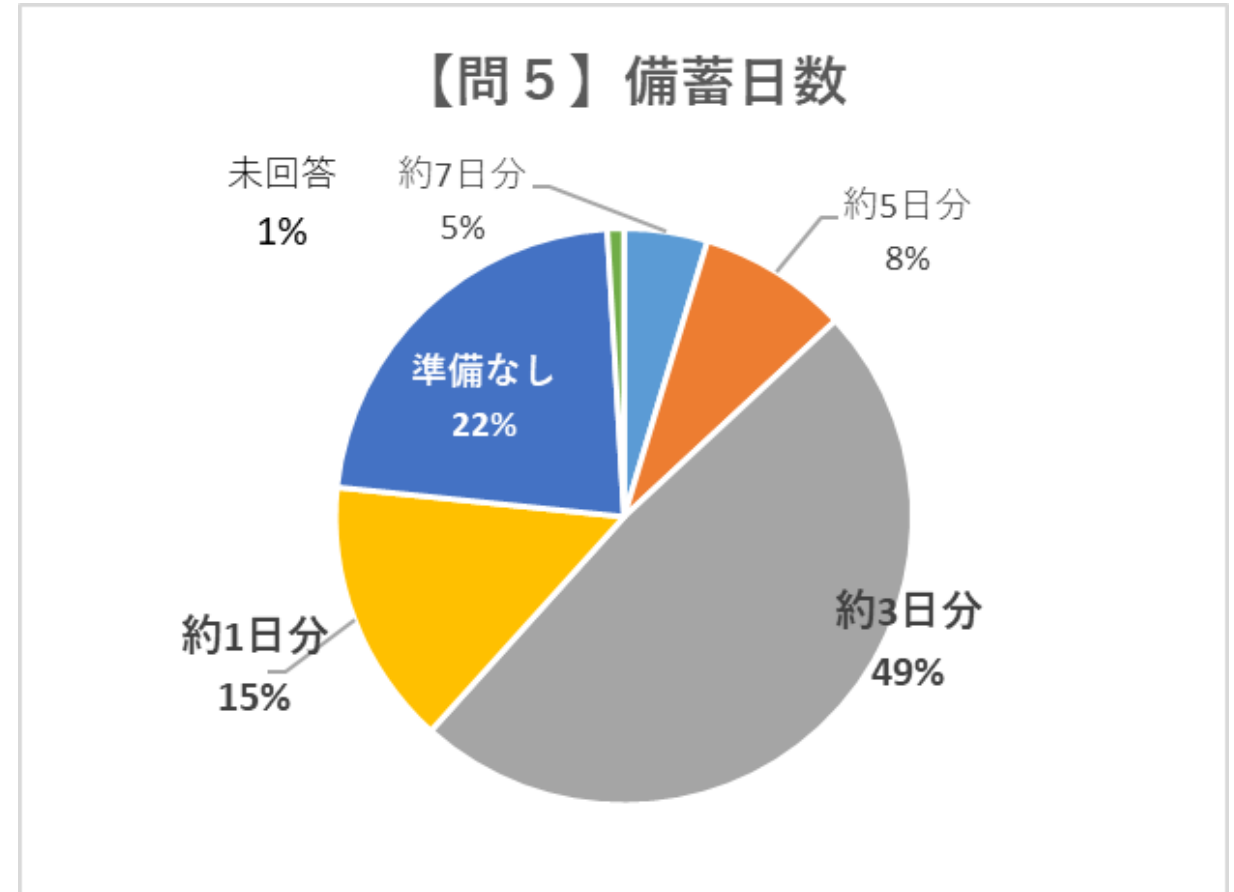
※その他（余子地区 1 その時の状況をみて判断）

その他（中浜地区 1 未定）

※未回答（中浜地区 1）

【問5 備蓄日数】

地区名	約7日分	約5日分	約3日分	約1日分	準備なし	回答者数
渡	0人	1人	16人	2人	2人	21人
境	1人	1人	7人	3人	0人	12人
上道	1人	0人	4人	2人	4人	11人
余子	1人	4人	5人	3人	4人	17人
外江	1人	0人	1人	1人	3人	6人
誠道	0人	1人	9人	2人	5人	17人
中浜	1人	2人	10人	3人	6人	22人
合計	5人	9人	52人	16人	24人	106人

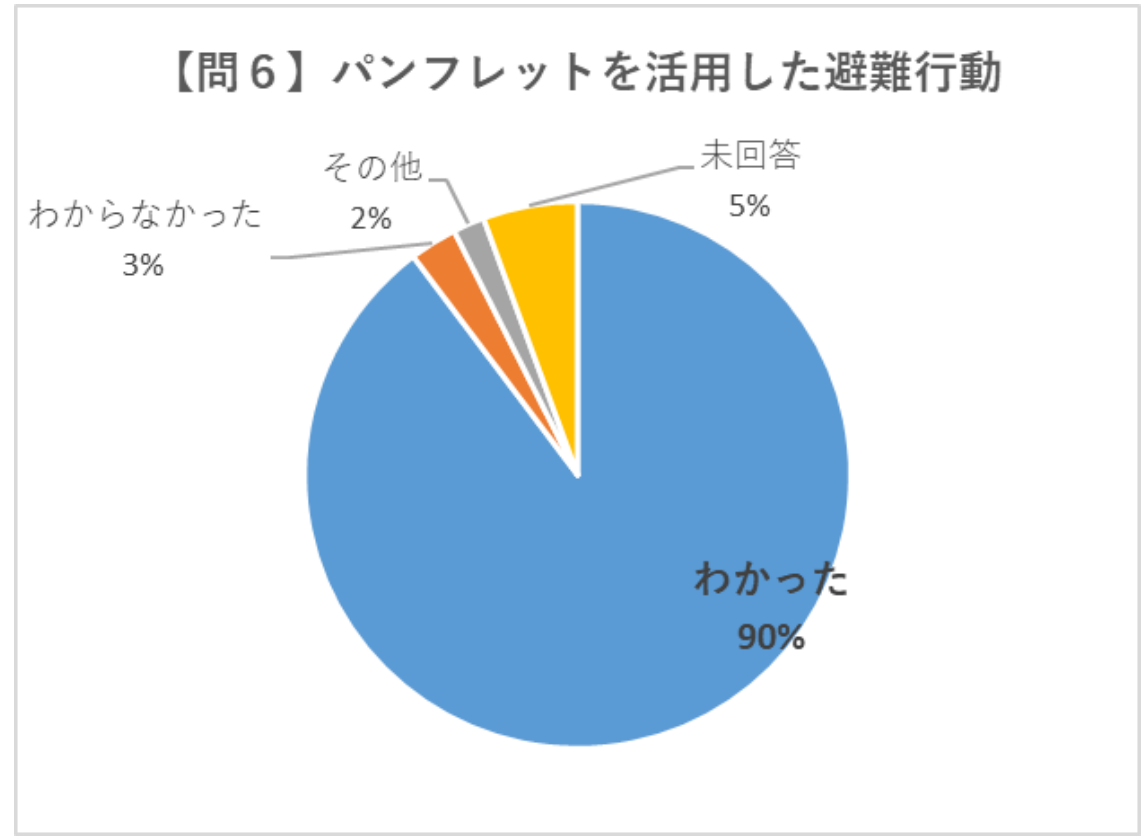


※鳥取県では、最低3日分の備蓄をお願いしている

※未回答（中浜地区1）

【問6 今回の説明会で新パンフレットを活用して自分がどのように行動すべきか手順がわかりましたか？】

地区名	わかった	わからなかった	その他	回答者数
渡	21人	0人	0人	21人
境	11人	0人	0人	11人
上道	9人	0人	0人	9人
余子	15人	1人	1人	17人
外江	5人	0人	0人	5人
誠道	17人	0人	0人	17人
中浜	18人	2人	1人	21人
合計	96人	3人	2人	101人



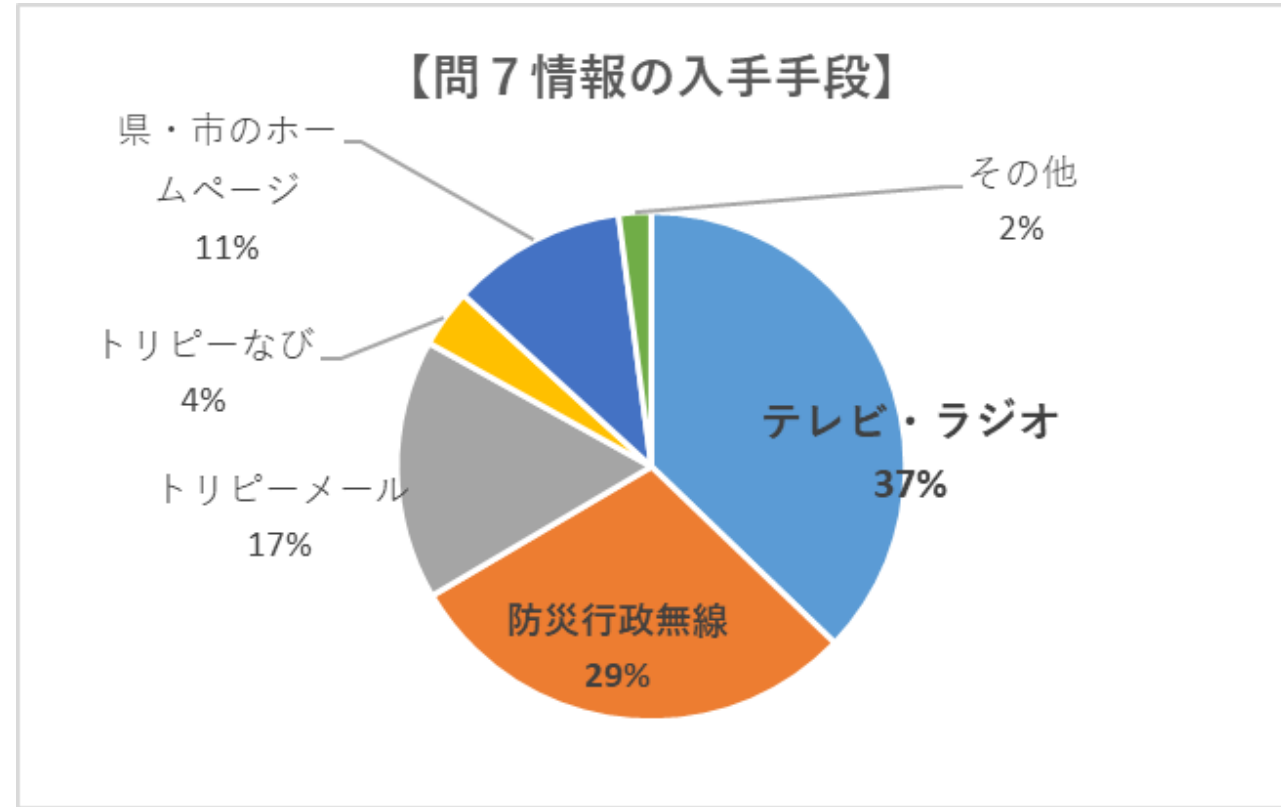
※未回答（境地区1、外江地区1、上道地区2、中浜地区2）

※その他
 余子地区：要配慮者を含め地域でどういう体制をとってどう行動するか何も決まっていない。

中浜地区：具体的にどうするかを家族や地域の人と話し合わない

【問7 情報の入手手段 ※複数回答】

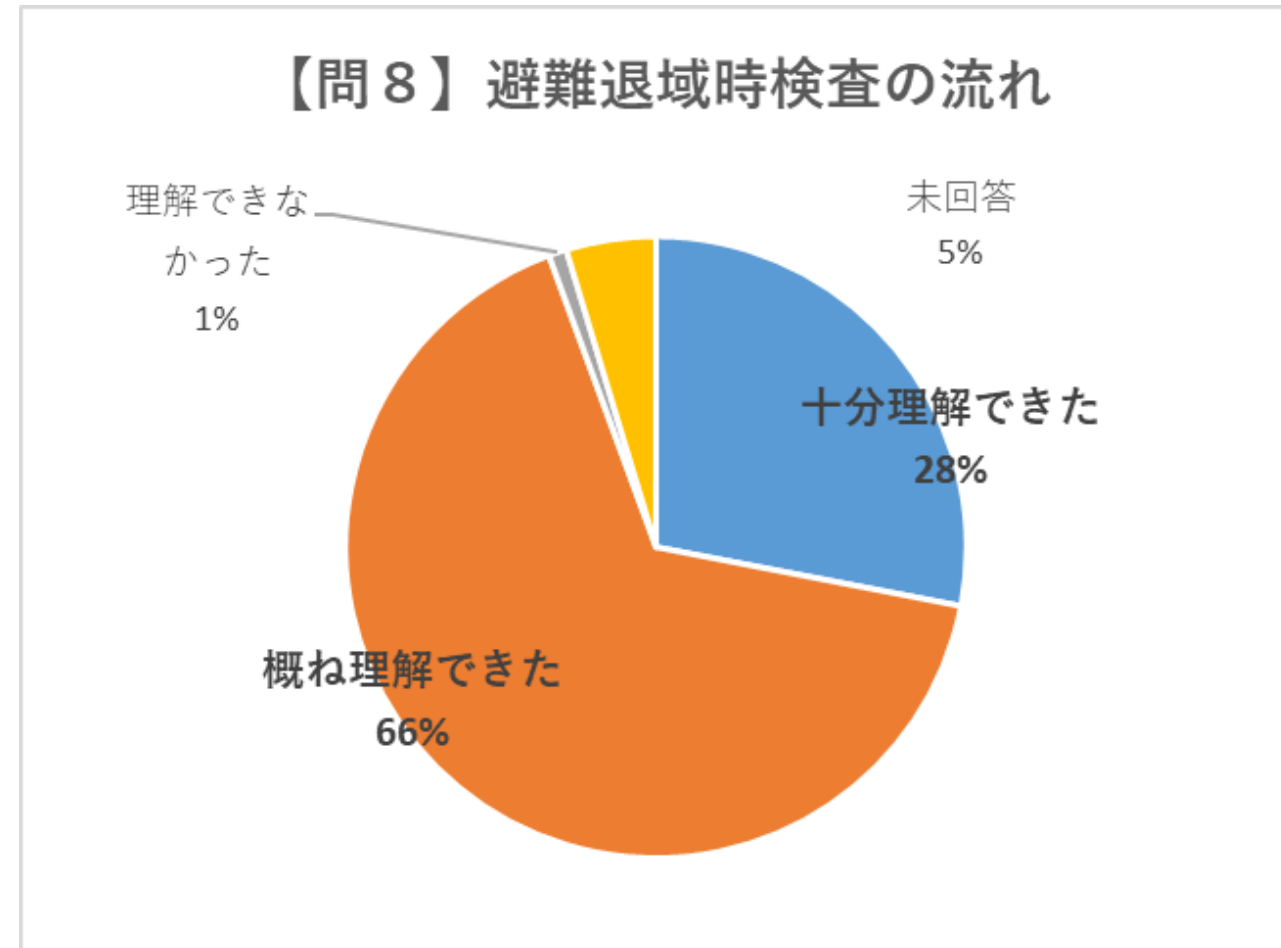
地区名	テレビ・ラジオ	防災行政無線	トリピーメール	トリピーなび	県・市のホームページ	その他
渡	17人	14人	7人	2人	6人	1人
境	8人	9人	9人	2人	2人	0人
上道	8人	6人	2人	1人	5人	0人
余子	17人	12人	5人	3人	5人	0人
外江	4人	4人	2人	0人	2人	1人
誠道	17人	13人	8人	0人	3人	1人
中浜	19人	13人	7人	1人	4人	2人
合計	90人	71人	40人	9人	27人	5人



※その他 (SNS)

【問 8 避難退域時検査会場における検査の流れ】

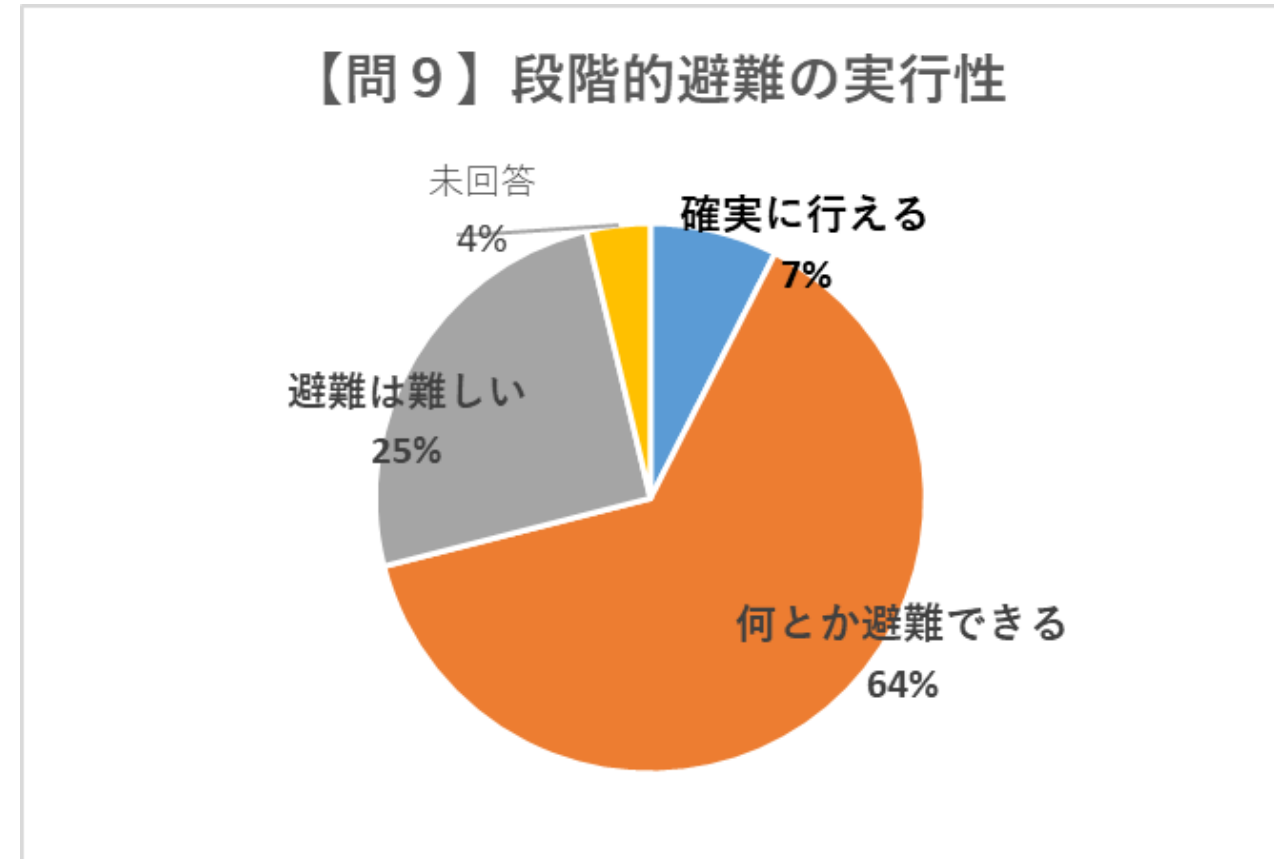
地区名	十分理解できた	概ね理解できた	理解できなかった	回答者数
渡	2人	19人	0人	21人
境	4人	6人	1人	11人
上道	4人	6人	0人	10人
余子	10人	6人	0人	16人
外江	1人	5人	0人	6人
誠道	6人	11人	0人	17人
中浜	3人	18人	0人	21人
合計	30人	71人	1人	102人



※未回答（境地区：1、上道地区：1、余子地区：1、中浜地区：2）

【問 9 段階的避難における避難は、確実に実行できると感じましたか？】

地区名	確実に 行える	何とか避 難できる	避難は難 しい	回答者数
渡	0人	18人	3人	21人
境	2人	5人	4人	11人
上道	1人	5人	4人	10人
余子	3人	13人	1人	17人
外江	0人	2人	4人	6人
誠道	2人	13人	2人	17人
中浜	0人	12人	9人	21人
合計	8人	68人	27人	103人



※未回答（境地区 1、上道地区 1、中浜地区 2）

【問 9 避難が難しいという理由】

- ・多くの住民に段階的避難について理解してもらう必要がある
- ・時間がどれくらいかかるか想定できないので、何とも言えない
- ・皆が理性をもって行動してくれるか、実際難しいと思う
- ・季節や交通事情により、避難が難しくなる。10年前の大雪での「陸の孤島」のような不安がある
- ・災害発生時の個々の心理的パニック状況下での冷静な行動は困難
- ・渋滞の発生により最終避難場所まで到達できず途中で引き返すなどの事象がうまれる不安がある
- ・交通網が過密になるのではないかと
・交通遮断が発生し孤立する
- ・段階的避難が守れるのか。屋内退避になった時点で動く人がたくさんいるのでは
- ・人間の心理として少しでも早く出たい。これを機会に理解してもらう、PRがまだ少ない
- ・米子の人も含め、一斉に避難すると
・情報が錯綜して正確に伝わらない
- ・交通面で計画通りに実際にできるか不安
- ・各地区が集中して避難するので混雑する、道路が渋滞すると
・事故の程度による
- ・住民の関心・意識が低い。周知されていないと思う
・島根半島からの避難合流は？
- ・災害が発生するとパニックになり協力的にルールを守りながら行動できるのか予想がつかない

【問 1 0 自由意見①】

- ・非常にわかりやすくよかった
- ・パンフレットは、避難行動計画の内容がわかりやすくできている
- ・地域パンフレットについてわかりやすかった
- ・思っていた以上に安全対策をされていることを知って参加してよかった
- ・北朝鮮、中国のミサイルも想定してほしい
- ・数年に1度、市民全員を対象とした訓練を実施し、問題点を把握しておく必要がある
- ・ハンドブックは、講演会等で受理している。変更点の説明をページ最初に入れてほしい
- ・地区別パンフレットの説明もあり、よかった
- ・年齢的に理解力も衰え、具体的なイメージもわからない。適切な行動ができるか、自信がない
- ・このような機会を設けてくださりありがとうございました
- ・参加者が少ない。多く集まる方法等を検討してもらいたい（実施日・時間等）
- ・多くの説明会を開いて周知を図っていただきたい
- ・避難所に行ってから運営等の訓練が必要になるかな

【問 1 0 自由意見②】

- ・ 住民の危機感が不足していて参加者が少ない
- ・ 変更があればその都度説明会を開いてほしい
- ・ 概ね理解できました。パンフレットやハンドブックで自分の命を守るために隣人の皆さんと一緒に行動できるようにしたいと思います
- ・ 情報の連絡をスピード感をもって知らせる
- ・ 高松町の避難経路は、遠回りすぎて時間がかかることがよくわかった
- ・ 本番は、個人的にバタバタすると考えるので実際には、難しいと思うが、もっと教育して各人に理解してもらうようにしてもらいたい
- ・ 避難方法を繰り返し説明してください
- ・ 起こってはならない事故

【会場での質疑①】

- ・安定ヨウ素剤の服用のタイミングは？
⇒国が判断し、県や市から指示を出す。一時集結所や避難退域時検査会場で配布。
事前配布についても説明。
- ・要配慮者への支援について
⇒原子力災害に限らず、避難行動要支援者名簿や個別避難計画等においてサポートする。
- ・マイカーとバスの避難のタイミングがずれないか？
⇒事象の早い段階から、県がバスの手配の準備をすることになっている。
- ・このパンフレットは、原子力災害に特化したものか？
⇒地震等の複合災害も視野に入れて、同時進行的に対応することとしている。このパンフレットは、原子力災害時での避難行動を示したものであるが、災害時には、行政から提供する正確な情報に基づいて行動をお願いしたい。
- ・避難先での避難想定期間は？また、自治のやり方は？
⇒長期での想定になれば、国が前面に立って支援を実施する。避難先では、コミュニティを維持しながら避難先での自治の維持に努めていただきたい。
- ・宍道断層（39km）の被害想定への対応についてはどうなっているのか？
⇒宍道断層（39km）については、原子力発電所の安全性を確保するために用いられた知見であり、本市の地域防災計画では、行政が行う一般防災対策として適切であるとされた宍道断層（22km）と比較し、より大きな影響を与える鳥取県西部地震断層を想定している。

【会場での質疑②】

- ・ 事象の進展の時間は？
⇒【中国電力より説明】事故が起こり、いきなり放射性物質が排出されることは考えにくい。福島事故の際も時間はあった。中国電力での訓練でも数時間かかる想定で実施している。しかしながら、絶対にはないとはいえない
- ・ 放射性廃棄物の半減期について
⇒【中国電力より説明】直接処分した場合は、10万年。再処理し、高レベル放射性廃棄物とした場合は、約8000年
- ・ 屋内退避時のエアコンの使用について
⇒外気を取り入れないエアコンは、使用できる。ご自宅のエアコンの説明書等をご確認ください
- ・ 9割がマイカー避難する想定とのことであるが不安
⇒避難時間の短縮について、段階的避難を説明
- ・ 屋内退避の期間をどのくらい想定しているのか？ 自宅に被害があった場合は？
⇒3日分の備蓄をお願いしている。長期になることが予想される場合は、避難に切り替える可能性もある。また、自宅での屋内退避が不安な場合は、お近くの公民館等のコンクリート屋内退避施設を利用してほしい。
- ・ バスの数が足りないのでは？
⇒バスの必要見込数200台に対し、県内で500台、足りなければ、中国地方で5000台確保する計画としている

【会場での質疑③】

- ・避難先での食事などは？
⇒避難先において、受入れ自治体等に支援をいただく。これは、一般災害においても、逆の立場でも県内市町村間で「相互応援協定」を締結し、県内市町村が助け合うこととしている
- ・受入側の理解が必要である。ハンドブックの配布だけでは足りない。避難先確認訓練の際にも受入れ先住民との意見交換等がなかった。また、避難先の自治会への説明会も必要である
⇒避難先確認訓練においては、相手先の都合もあるが、できる限り、避難先住民との意見交換の場を持つようにしている。いただいたご意見は、鳥取県とも共有する
- ・発電所は、攻撃されるリスクがある。どれだけ耐えられる構造なのか？
⇒【中国電力より説明】戦争の場合は、国防として国の対応になるが、航空機が発電所に突っ込んだ場合等のテロ行為の対策は実施している
- ・東部の避難所ではなく県外の親戚宅等へ避難したいがいいか
⇒構わない。避難退域時検査会場において、検査済証を受取り、避難いただいた方が相手方も安心
- ・外浜道路がバスの乗車場となっている。狭い道路でバスが連なる。また、壊れた道路の補修をしながらの避難等について避難可能なのか、再検討いただきたい。
⇒警察等の誘導を受けながらの避難、自衛隊等の実動組織の支援を受けながらの実施になる。いただいたご意見は、鳥取県とも共有したい。
- ・上道地区に住んでいるが、外江地区のおばあさんを連れて避難したい。避難のタイミングは？
⇒外江地区の避難先への避難のタイミングに合わせて一緒に避難